

もくじ

- ・ ピノキオ

ピノキオ

げんさく
原作： カルロ・コッローディ

イラスト： ナナホシ

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

3

木彫り職人のゼペットじいさんは、長い間、
一人ぼっちで暮らしていました。

「うちにも子どもがいれば、さみしく感じることも
ないんだろうなあ・・・そうだ！」

ゼペットじいさんは、木を削って、子どもの人形を
作り始めました。

「この子の名前は・・・よし、『ピノキオ』にしよう！」

やがて彫り上がってきたピノキオの顔は、目が
大きくて、鼻の高い、なかなかハンサムに仕上が
りました。ふとなんだか、ピノキオが微笑んだような気が
したので、ゼペットじいさんはピノキオに話しかけ
ました。

「こらこら。まだできていないんだから、動いちゃ
だめだよ」



すると・・・

「ふふふ、だっつくすぐったいんだもん。お父^{とう}さん」

なんとピノキオが、笑^{えが}顔^おで言^{こと}葉^ばを話^{はな}したのです。

「なに！今^{いま}しゃべったのは、お前^{まえ}かい！？」

「そうだよ、お父^{とう}さん。ねえ、早^{はや}くぼくの体^{からだ}も作^{つく}てよ」

ゼペットじいさんは、あまりのおどろきに、手^てにも持^もっていたノミを落^おとしてしまいました。

それからゼペットじいさんは、すぐにピノキオの体^{からだ}を彫^ほりあ^あげました。

「わーい！わーい！お父^{とう}さん、歩^{ある}けるんだよ、ぼく！」

ピノキオはうれしそうに、家^{いえ}の中^{なか}を走^{はし}り回^{まわ}りました。

